

SGSグループ研究テーマ（平成30年度）

SGS 登録No.				作成	H 30年 6 月 20 日	
グループ名	バンブー16			代表者	雑喉 良	
学外協力団体等 (あれば記入)	北摂里山大学			代表者		
				代表者		
新規、継続、終了 (該当に○)	新規	継続	終了			
主たる分野 (○記入、複数可)	農業	漁業	流通、消費	森林	環境	村活性化
				○	○	
	地球温暖化	生物多様性	水	エネルギー	化学物質	自然保護
				○		
	子供	食育				
テーマ	竹林の調査研究と活用提案					
テーマのねらい	里山放置林は大きな環境問題だが、全国的である。まず、「竹林」からはじめ 植生・日本人の活用の歴史。竹害の現状・継続的な活用を連携しながら提案する					
予定期間	平成30年～2年間					
グループ人数	6名					
メンバー名	雑喉 良	(16 期)	五郎丸 光昭	(16 期)		
	沼館 廣彦	(16 期)	栗山 三千子	(16 期)		
	保本 晴己	(16 期)	太田 経子	(16 期)		
	大田 直子	(16 期)		(期)		
		(期)		(期)		
		(期)		(期)		
内容 (活動概要、 活動地域 活動対象など)	1. 竹林の現状と里山再生の関係の調査 2. 竹林の利用の歴史 兵庫県を活動対象とする 1)日本の竹利用 建築材料 工芸品 生活道具(プラスチックとの関わり) 食料 2)竹害の現状 3. 竹林の活用 淡路島での竹チップや竹粉・ボイラー使用。姫路の竹パウダーなどを調査 地産地消のエネルギー源として提案出来ることも目指していく 竹林のオーナーではないが、調査活動・ボランティア活動を通じて竹林をあらゆる方向から 調査・研究する。里山探検隊・あいなの里山などとの連携も模索する					